

CASBEE[®] あいち

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)/2016年版+あいち版手引き 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	清須市役所 西館	階数	地上4階
建設地	愛知県清須市須ヶ口中家土野1238番外4庫	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	300人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026/3/1 予定	評価の実施日	2024/9/1
敷地面積	3,889㎡	作成者	小林 兼治
建築面積	1,081㎡	確認日	2024/9/2
延床面積	3,767㎡	確認者	中井 勝巳



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 64%
- ③上記+②以外の: 64%
- ④上記+: 64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 4

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 2

LR2 資源・マテリアル: 1

LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.8</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材・外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
清須市役所 西館

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分			住居・宿泊部分			全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	
		Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境										3.4
1 音環境										3.2
1.1	室内騒音レベル			0.1	3.2	0.15	-	-	-	-
1.2	遮音			3.0	3.0	0.40		3.0	-	-
1	開口部遮音性能			0.4	3.0	0.40			-	-
2	界壁遮音性能			-	3.0	0.60		3.0	-	-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.40		3.0	-	-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	-		3.0	-	-
1.3	吸音		天井・岩綿吸音板、床・タイルカーペットを採用	-	4.0	0.20		3.0	-	-
2 温熱環境										2.6
2.1	室温制御			0.3	2.6	0.35		-	-	-
1	室温			0.5	3.0	0.50		-	-	-
2	外皮性能			3.0	3.0	0.38		3.0	-	-
3	ゾーン別制御性			3.0	3.0	0.25		3.0	-	-
2.2	湿度制御			3.0	3.0	0.38		-	-	-
2.3	空調方式			3.0	1.0	0.20		3.0	-	-
				3.0	3.0	0.30		3.0	-	-
3 光・視環境										3.9
3.1	日光利用			0.2	3.9	0.25		-	-	-
1	日光率			0.3	3.0	0.30		-	-	-
2	方位別開口			3.0	3.0	0.60		3.0	-	-
3	日光利用設備			-	-	-		3.0	-	-
3.2	グレア対策			3.0	3.0	0.40		3.0	-	-
1	日光制御		庇(バルコニー)とブラインドを併用	0.3	4.0	0.30		-	-	-
3.3	照度		執務室は750Lxを確保する設定をした	5.0	4.0	1.00		3.0	-	-
3.4	照明制御		執務室で各エリア毎にリモコンスイッチと照度センサーを設けさらにタイマー制御をしている	3.0	4.0	0.15		3.0	-	-
				3.0	5.0	0.25		3.0	-	-
4 空気質環境										4.1
4.1	発生源対策			0.2	4.1	0.25		-	-	-
1	化学汚染物質		材料は全面的にF☆☆☆☆を使用	0.5	5.0	0.50		-	-	-
4.2	換気			3.0	5.0	1.00		3.0	-	-
1	換気量		居室は30m ³ /hとした。	0.3	3.3	0.30		-	-	-
2	自然換気性能			3.0	4.0	0.33		3.0	-	-
3	取り入れ外気への配慮			3.0	3.0	0.33		3.0	-	-
4.3	運用管理			3.0	3.0	0.33		3.0	-	-
1	CO ₂ の監視			0.2	3.0	0.20		-	-	-
2	喫煙の制御		館内禁煙	3.0	1.0	0.50		-	-	-
				3.0	5.0	0.50		-	-	-
Q2 サービス性能										3.7
1 機能性										3.7
1.1	機能性・使いやすさ			0.4	3.7	0.40		-	-	-
1	広さ・収納性			0.4	3.3	0.40		-	-	-
2	高度情報通信設備対応		各階に複数の通信業者の回線が引き込まれている。また、OA機器用コンセント容量40VA/m ² を確保している。	3.0	3.0	0.33		3.0	-	-
3	バリアフリー計画	独自		3.0	4.0	0.33		3.0	-	-
1.2	心理性・快適性			3.0	3.0	0.33		-	-	-
1	広さ感・景観 (天井高)		執務室の天井高2.8m	0.3	4.6	0.30		-	-	-
2	リフレッシュスペース		1階に休憩が可能な食堂を計画	3.0	4.0	0.33		3.0	-	-
3	内装計画		エントランスは木調をコンセプトに内観パースを作成して検討	3.0	5.0	0.33		-	-	-
1.3	維持管理			0.3	3.5	0.30		-	-	-
1	維持管理に配慮した設計		外壁の塗装はふっ素など高耐候性の仕上としている。	3.0	4.0	0.50		-	-	-
2	維持管理用機能の確保			3.0	3.0	0.50		-	-	-
2 耐用性・信頼性										3.9
2.1	耐震・免震・制震・制振			0.3	3.9	0.31		-	-	-
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.5	0.4	4.6	0.48		-	-	-
2	免震・制震・制振性能			3.0	5.0	0.80		-	-	-
2.2	部品・部材の耐用年数			3.0	3.0	0.20		-	-	-
1	躯体材料の耐用年数	②		0.3	2.7	0.33		-	-	-
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			-	3.0	0.23		-	-	-
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	2.0	0.23		-	-	-
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.09		-	-	-
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			-	3.0	0.08		-	-	-
6	主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.15		-	-	-
2.4	信頼性			0.1	4.2	0.19		-	-	-
1	空調・換気設備			3.0	3.0	0.20		-	-	-
2	給排水・衛生設備		節水型器具、系統分け、緊急排水槽の設置、中水利用有り	3.0	5.0	0.20		-	-	-
3	電気設備	②	非常用発電機設置、防水版設置、本線・予備線の2回線受電となっている	3.0	4.0	0.20		-	-	-
4	機械・配管支持方法		耐震クラスA	3.0	4.0	0.20		-	-	-
5	通信・情報設備		ケーブルTVを設置	3.0	5.0	0.20		-	-	-

3 対応性・更新性				0.2	3.6	0.29	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			階高4.2m以上 壁長さ比=0.13	-	5.0	0.60		3.0	-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	4.0	0.40		3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.4	0.38		-	-	
1 空調配管の更新性			② OAフロアと弱電専用ラックが各階要所に敷設している 屋根の一部は設備更新時を考慮し積載荷重割り増し	-	3.0	0.17		-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	3.0	0.17		-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	3.0	0.11		-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	5.0	0.11		-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	3.0	0.22		-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	4.0	0.22		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30		-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-		-	-	3.8
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.54	3.0	5.0	0.30		-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20		-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.5	3.0	5.0	0.30		-	5.0
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング					3.0	-	-		-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	1.00		-	
集合住宅の評価					-	-	-		-	
4.1 モニタリング					-	3.0	-		-	
4.2 運用管理体制					-	3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	3.8
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水					3.0	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	4.0	0.63		-	4.0
2.1 材料使用量の削減					-	3.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					-	5.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			② 独自		-	5.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自		3.0	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	3.5	0.68		-	
1 消火剤					-	-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)					-	4.0	0.50		-	
3 冷媒					3.0	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			①		-	4.4	0.33		-	4.4
2 地域環境への配慮					0.3	3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止					-	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			独自		-	5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					0.3	2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40		-	
1 騒音			独自		-	3.0	1.00		-	
2 振動			独自		-	-	-		-	
3 悪臭					-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	1.9	0.40		-	
1 風害の抑制					-	1.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	3.0	-		-	
3 日照阻害の抑制					-	4.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					-	4.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

津須市役所 西館

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.8
Q2-2	耐震性・信頼性	3.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	4.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 清須市役所 西館

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 清須市役所西館は独立した棟で考えた時にZEB Readyの環境に配慮した建物とすると同時に高断熱、高い天井高の執務空間とするなど、高い室内環境性の両立を目指した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 床や天井に吸音製の高い建材を使用し、円滑な窓口対応ができるように配慮した。 建物には庇となるバルコニーを計画し、執務中の屋光のグレア対策を考慮している。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 執務室の天井高は2.8mを確保し、閉塞感を感じないよう配慮。 1階に食堂を計画し、自動販売機などを設置し職員の休憩場所としても利用。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 清須市役所西館は既設建物への増築であり、既設建物のコンセプト(色調や新川の水の流れをイメージした目隠し壁の開口デザイン等)を踏襲しつつ、清須市役所としての一体感を目指した。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 西館単体で考えた時、BEI \leq 0.5となる設備計画を行い、消費エネルギーの低減を目指した。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体の一部にリサイクル材(高炉セメントB種)を利用するなど、リサイクル材の有効利用に配慮した。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 清須市役所西館は西側道路から極力離隔を取り、日影の周辺への影響低減を目指した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。